

平成30年度事業報告

概 要

全国的に人手不足問題が深刻化しており、就業意欲がある元気な高齢者が現役世代を支える分野で活躍することは、単に収入を得るという側面だけではなく、自らの生きがいの充実や健康を維持することができ、社会参加・社会貢献活動を組織的に実施するシルバー人材センター事業の役割は、ますます重要なものとなっています。

また、会員数については徐々にではありますが増加傾向にあり、今後も就業機会の拡大と併せて継続して取り組んでいきます。

平成30年度の受託事業実績は、受注件数が19,642件で前年度より1,172件の減、受注金額は905,887千円と前年度より11,609千円の減でしたが、派遣事業が順調に伸びておりこれらを含めた全体実績では、1,285,295千円で前年度と比較し、95,113千円の増、率で約8%の増となりました。

新入会員の入会動機ですが、昨年同様「社会参加」とする方が約43%と一番高い率となっています。

事業実績等については別紙資料1のとおりです。

具体的な事業の実施状況は以下のとおりです。

1 財政基盤の強化

(1) 新規事業の検討

全国的に問題となるケースが増えている「空き家管理対策」ですが、札幌市担当課へ訪問し、現在の状況等を調査、検討しましたが、昨年同様、直ちに対応が必要な需要は少数であることから、今後も他都市の活動について情報収集を継続して行い、センターとしてどのような取り組みが可能なのか検討していきます。

(2) 賛助会員の拡充

シルバー事業に賛同して頂ける賛助会員は、受託事業契約の終了等により4件の退会がありましたが新規に8件の入会があり、平成29年度と比較し4件増の41団体となりました。

(3) 管理経費等の検証

支部における電話回線について契約内容を見直す等、運営経費に無駄が生じないように努めました。

また、近年最低賃金の大幅な改定が続いたことから、「配分金見積基準表」の改定を当初予定より1年早く実施し、平成31年4月より適用しました。

2 受注体制の強化

(1) 会員の入会促進

平成30年度は「第2次会員100万人達成計画」の初年度であることから、入会事務を専任で担当する職員を引き続き配置し、各支部での就業相談窓口に加え、入会希望者の利便性を考慮し、区毎の「出張入会相談窓口」の開催、各支部単位での「入会説明会」を実施しました。

また、会員募集専用チラシ等のスーパー・ドラッグストアでのラックへの備置き、高齢者教室等での出張説明会の開催、札幌市が主催する高齢者向け仕事説明会への参加、新聞・テレビコマーシャル、地下鉄駅ホーム柵看板掲出等のPR活動を実施した結果、徐々にではありますがその効果が表れています。

今後も「一人一会員入会」を目標に、様々な機会を利用し新入会員の拡充に積極的に取り組んでいきます。

(2) 就業開拓の推進

民間企業へは、就業機会創出員4名による訪問活動を実施し、札幌市には生活支援体制整備事業の協議体の一員として「家事援助サービス」分野での発注拡大等を要請しました。また、一般家庭に対しては、全会員による年2回のチラシ配布や季節的に需要が発生する植木の手入れや冬囲い作業の再利用案内を継続して実施し、就業機会の確保に努めました。

(3) 会員の技術・技能の向上

技能研修会は、新しい取り組みとして「機械除草」「植木の手入れ」「冬囲い」の3つの職種いずれかの研修会を受講し、5年を経過した会員、及び判定委員会制度施行前から就業実績がある会員を対象に、主として就業時のマナーに関する事項や安全意識の高揚を図ることを目的とした「更新研修」を開催するなど、6科目で20回開催し、459名が受講しました。

また、(公社)北海道シルバー人材センター連合会主催の「高齢者活躍人材育成事業」による技能講習会には、5科目で、77名の会員が参加しました。

研修会実施状況

研 修 名	開催日数	受講者数
毛筆宛名書き	2開催 16日間	58名
毛筆賞状書き	1開催 14日間	10名
機械除草	2開催 6日間	52名
機械除草(上級)	1開催 2日間	16名
植木の手入れ	2開催 4日間	45名
植木の手入れ(上級)	1開催 2日間	27名
植木の冬囲い	2開催 4日間	45名
植木の冬囲い(上級)	1開催 2日間	25名
更新研修	8開催 5日間	181名
合 計	20回 55日間	459名

3 就業体制の整備

(1) 就業機会の拡大

「共働・共助」の理念に基づくワークシェアリングは継続して取組み、より多くの就業機会の提供に努めていきます。また、「就業期限基準」が適用となる3業務で就業する会員のうち、合計141人の方々が平成30年度末での交替の対象となりました。

順調に実績を伸ばしている派遣事業に関しては、派遣会員に対するキャリア形成支援研修会を実施し、242名が受講しました。今後も社会のニーズに応じていくため内部の事務体制の充実も含め、事業拡大に努めます。

(2) 適正就業の推進

全国的に強化されている適正就業に関する取組みですが、昨年度に引き続き「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」を新入会員及び新規発注者に配付し、啓発活動を行いました。今後も継続して実施してまいります。

(3) 会員継続調査

会員4,022人に対して調査票を送付し、3,222人から返信がありました。結果は次表のとおり「会員を継続する」が2,861人(88.8%)、「平成30年度末で退会する」が361人(11.2%)でした。

また、会員からの意見・要望のうち代表的なものを会報シルバーさっぽろ(第116号)に掲載しました。

平成30年度会員継続調査結果

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| 1 調査年月 | 平成31年1月～平成31年2月 |
| 2 調査票回収状況 | |
| (1) 発送数 | 4,022枚(人) |
| (2) 回収数 | 3,222枚(人) |
| (3) 回収率 | 80.1% |
| 3 調査項目 | |
| (1) 会員継続について | |
| ① 会員を継続する | 2,861人 |
| ② 平成30年度末で退会する | 361人 |
| (2) 会員を継続すると答えた方の就業状況(2,861人中) | |

項	目	人数	割合
1	平成30年4月から調査時までには仕事をした	2,477人	86.6%
2	平成30年4月から調査時までには仕事をしなかった	361人	12.6%
3	回答なし	23人	0.8%

(3) 仕事をしなかった理由(361人中)

項	目	人 数	割 合
1	仕事の提供がなかった	149 人	41.3%
2	病気（本人）のため	27 人	7.5%
3	体力に自信がなかった	8 人	2.2%
4	長期間不在だった	4 人	1.1%
5	希望の仕事ではなかった	54 人	14.9%
6	家庭の事情により	32 人	8.9%
7	技術・技能に自信がなかった	2 人	0.5%
8	その他	71 人	19.7%
9	回答なし	14 人	3.9%

(4) 退会すると答えた方の理由 (361人中)

項	目	人 数	割 合
1	病気のため	79 人	21.9%
2	シルバー事業を通じて就職	3 人	0.8%
3	その他で就職	56 人	15.5%
4	転居	6 人	1.7%
5	希望する仕事なし	41 人	11.4%
6	就業機会なし	37 人	10.2%
7	家庭の事情 (介護等)	24 人	6.7%
8	加齢	54 人	15.0%
9	他団体への加入	3 人	0.8%
10	センター運営に対する不満	9 人	2.5%
11	その他	42 人	11.6%
12	回答なし	7 人	1.9%

(5) 健康診断受診状況 (2,861人中)

項	目	人 数	割 合
1	受診した	2,510 人	87.7%
2	受診しなかった	298 人	10.4%
3	回答なし	53 人	1.9%

(6) センターに対する意見・要望等 (465人中)

項	目	人 数	割 合
1	仕事の提供をしてほしい (具体的記入有り)	366 人	78.7%
2	希望以外の仕事でも良い (具体的記入有り)	99 人	21.3%

4 地域班・職群班組織の充実

(1) 地域班活動の活性化

会員自身が自主的に考え、主体的に行動するというシルバー事業にとって、地

地域班・職群班活動は重要な役目を果たすものです。各地域班では運営委員を中心に地域懇談会等を積極的に開催しており、会員拡充も含めた様々な啓発活動も行っています。

また、女性部長連絡会議においては、「裁縫」に関する就業機会の拡大を目指した同好会を立ち上げ、結果として保育園等からの受注に結びついた事例を紹介し、併せて「女性の活躍の場」の拡大を目的にこの分野での就業機会を全市的に広げていくよう各区に呼びかけを行いました。

(2) 職群班活動の推進

グループ就業は、シルバー人材センターの基本であり、安全・適正就業、技術・技能の向上の面からも効果が期待できる複数就業の推進には、今後も取り組んでいきます。

職種グループ数は徐々にではありますが、確実に増えてきています。また、同一職種においては支部単位での世話役等による連絡会議が開催される等、今後も組織の充実、発展を推進します。

主な各区地域班活動状況 (センター全体での活動を除く)

単位：回

		中央区	東区	南区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	北区	西区	手稲区	計
会議関係	地域班会議	11					12					23
	運営委員会義	9	9	7	15	12	15	7	9	17	15	115
	地域懇談会	7	3	1	2	5	4	3	4	7	4	40
	女性部連絡会議	5	2	2	5	3	9	1	2	4	14	47
	世話役連絡調整会議		1	6			3			4	1	15
	代表世話役連絡調整会議					4	2		1	1		8
	職種グループ会議	1	4	9	3	5	1	2	4	4	3	36
計		33	19	25	25	29	46	13	20	37	37	284
普及啓発関係	普及啓発活動	1	1	1			1	2		1		7
	パネル展											0
	ボランティア活動	2						1		1		4
計		3	1	1	0	0	1	3	0	2	0	11
独自研修関係	植木の手入れ	3	3			1	2	1	1	5		16
	植木の冬囲い	3	1			1	1	1	1		1	9
	除草(手刈)	2										2
	除草(機械)	3	2	1		1	2	1	1		1	12
	除雪							1				1
	パソコン					2						2
計		11	6	1	0	5	5	4	3	5	2	42
親睦行事				2			8	2	1	2		15

5 安全就業の確保

安全就業には会員自らの意識が大切であり、安全は全てに優先します。

平成30年度は損害賠償事故の防止だけでなく、会員の健康面も含めた安全就業の確保のため、複数就業の徹底に取り組みました。

(1) 安全就業の強化

- ① 「安全・適正就業委員会」による就業現場視察を実施し、安全就業基準の遵守状況等を確認しました。その結果については就業会員に通知し、各自の安全意識の高揚を図りました。
- ② 技能系職種における事故当事者の研修会再受講措置は、3件が対象となりました。今後も継続して実施し、事故の再発防止に努めます。
- ③ 事故発生率の高い植木の手入れや機械除草作業での事故防止を目的に、また、お互いの健康状態も相互確認できるよう複数就業の徹底を図りました。
- ④ 機械除草職種では「安全就業実施度自己チェック票」を活用した自主点検の徹底を呼び掛ける等、事故防止に努めました。
- ⑤ 平成30年度は安全就業を全員で強く意識し、その推進に取り組んだ結果、事故件数は大幅に減となりましたが、残念ながら事故措置審議会の対象となる案件が3件ありました。この事故について内容の分析や会員に対する措置を決定し、本人には損害賠償額を明記した指導文書を理事長から直接手交し、注意を促しました。
- ⑥ 派遣事業の拡大に伴い、主に派遣会員の衛生管理及び健康の保持増進等を図ることを目的に設置した「衛生委員会」ですが、平成30年度においても健康診断の受診案内を対象者357名に送付し、結果、168名が受診しました。

(2) 事故発生状況

平成30年度の事故発生状況ですが、傷害事故15件、損害賠償事故5件の合計20件で、前年度が傷害、賠償事故合わせて40件でしたので、20件の減と大幅に減りました。これもひとえに会員一人ひとりが安全に対する意識を強く持った効果が表れたものと思っています。

傷害事故では、冬道での転倒事故や虫刺されが依然として目立ち、近年同様の傾向にあります。また、平成29年度は疾病に起因する事例が多く発生しましたが、平成30年度はその傾向は見受けられませんでした。しかし、普段からの健康管理は重要であることから、今後も機会がある毎に健康診断の受診を奨励していきます。

また、損害賠償事故は13件の減となっており、特に機械除草作業の事故件数が前年度より9件減となり、当該職種の「作業別安全就業基準」の見直しの効果が表れたものと思っています。

ただし、この状況に満足することなく、今後も安全はすべてに優先することを一人ひとりが意識し、仕事に取り組む必要があります。

年度別傷害事故・損害賠償事故発生状況

事 故 の 内 容		29年度	30年度
傷 害 事 故	転 倒	7	7
	激 突	1	1
	飛来、落下	0	1
	崩壊、倒壊	1	0
	はさまれ、巻込まれ	0	1
	切れ、こすれ	1	0
	交通事故（道路）	0	2
	動作の反動、無理な動作	1	0
	犬・蛇噛まれ、虫刺され	5	3
	その他	6	0
	計	22	15
損 害 賠 償 事 故	飛散させた物で損壊	8	2
	器具・用具を接触させ損壊	4	0
	落下させて損壊	1	0
	倒したり、ぶついたりして損壊	2	1
	自動車・機械・用具等の誤操作	1	0
	その他の就業中の損壊	1	2
	その他の途上の損壊	1	0
計	18	5	
合 計		40	20

6 広報活動の充実

(1) 会員への情報提供

会報「シルバーさっぽろ」は、ページ数全体を増やしたことにより、大きな文字で編集することができ、また、カラーページを増やす等、多くの方の目に留まるよう読み易さの向上に努めました。

さらには、女性部の活動にスポットを当てた記事を掲載する等、会員の様々な活動状況が広く紹介出来るように努めました。

(2) 普及啓発活動

- ① 平成30年9月3日から5日までの3日間、札幌市役所ロビーでパネル展を開催し、併せて市民からの相談等に対応しました。当初は5日間の予定でしたが、9月6日の地震発生により後半の2日間は中止となりました。
- ② 平成30年10月9日には第19回大通公園清掃奉仕活動を実施し、併せて地下鉄駅出入口周辺でのチラシ配布等のPR活動も行いました。当日はテレビ取材もあり、当センターの活動が広く市民の目に留まりました。
- ③ 全会員による「普及啓発チラシ」の配布は例年どおり年2回実施しました。

- ④ 各区役所やまちづくりセンター等の窓口にチラシの備え置きを依頼し、シルバー事業の普及啓発に務めました。
- ⑤ 平成31年2月20日には前年度に引き続き、道シ連主催の「シルバーフェスティバル」が地下歩行空間（チカホ）で開催され、前回より2センター多い道央圏6センター（札幌、江別、北広島、恵庭、伊達、石狩）が参加し普及啓発活動を実施しました。
- ⑥ フリーペーパーでの記事掲載等、会員募集と同時にPR事業を実施しました。

7 事務局体制等の強化

(1) 事務局体制の効率化

派遣事業の拡大に伴い、会員に対するキャリア形成支援に関する研修会の実施や契約事務処理の整備等、及び会員拡充のための出張相談窓口の開催に対応するため専任職員を配置し、体制の充実に努めました。

(2) 会員の事務局運営への参加

従来より各支部での「相談窓口」は会員自らが担当し、入会希望者に対し実経験に基づいた具体的、かつ分かり易い事業説明を行っており、大変好評なことから今後も継続して実施します。

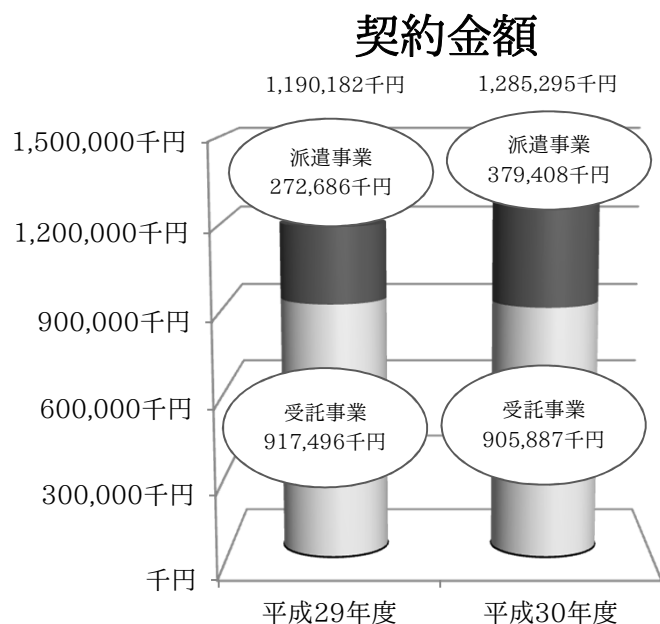
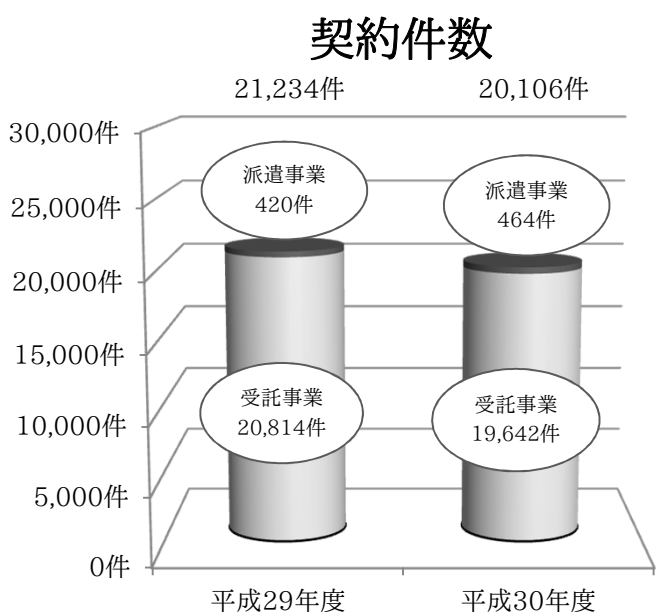
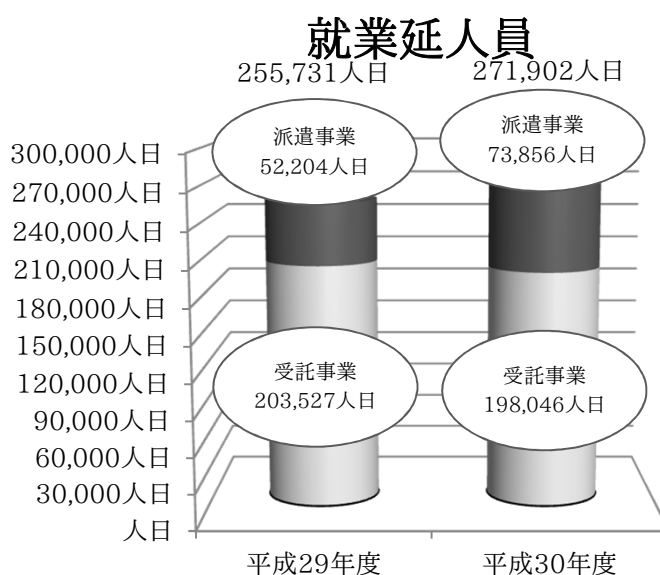
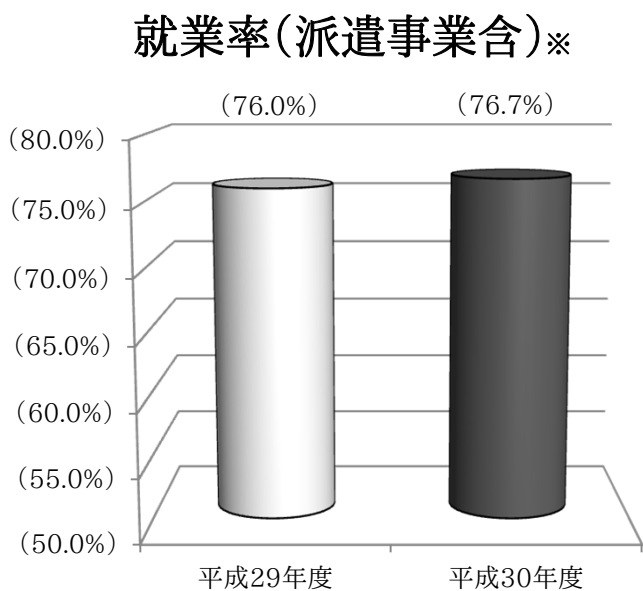
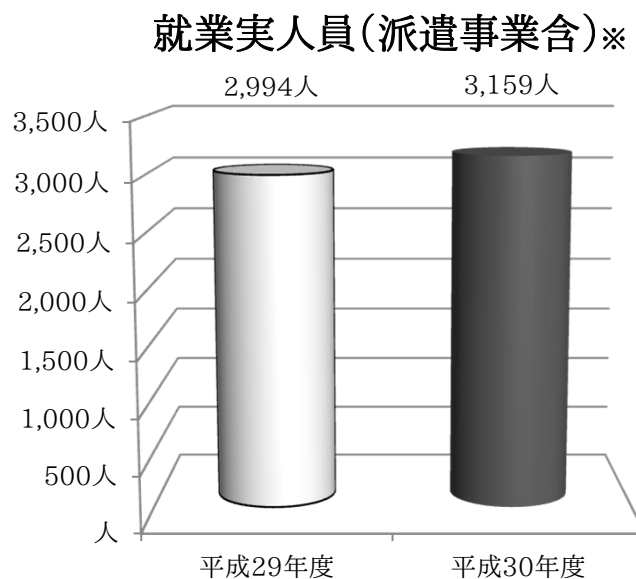
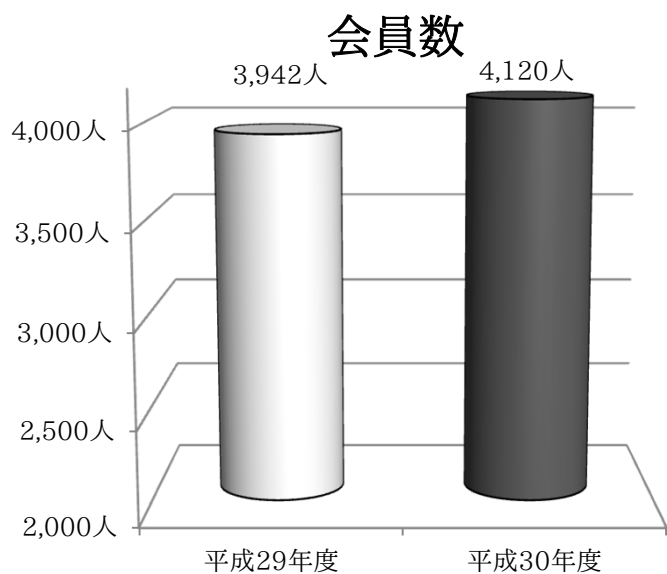
8 第2次基本計画に基づく事業の実施

事業計画推進委員会の各部会では、「第2次基本計画（5ヶ年）」に掲げられたそれぞれの主要課題に対する具体的施策について検討を行っています。また、その過程で新たな課題等が発生した際には、事業計画として設定する等、今後も積極的に取り組んでいきます。

9 各種会議の開催状況

平成30年度に開催された総会、理事会等の各種会議の開催状況は別紙資料2のとおりです。

①事業年度別会員数・就業実人員・就業延人員・契約件数・契約金額

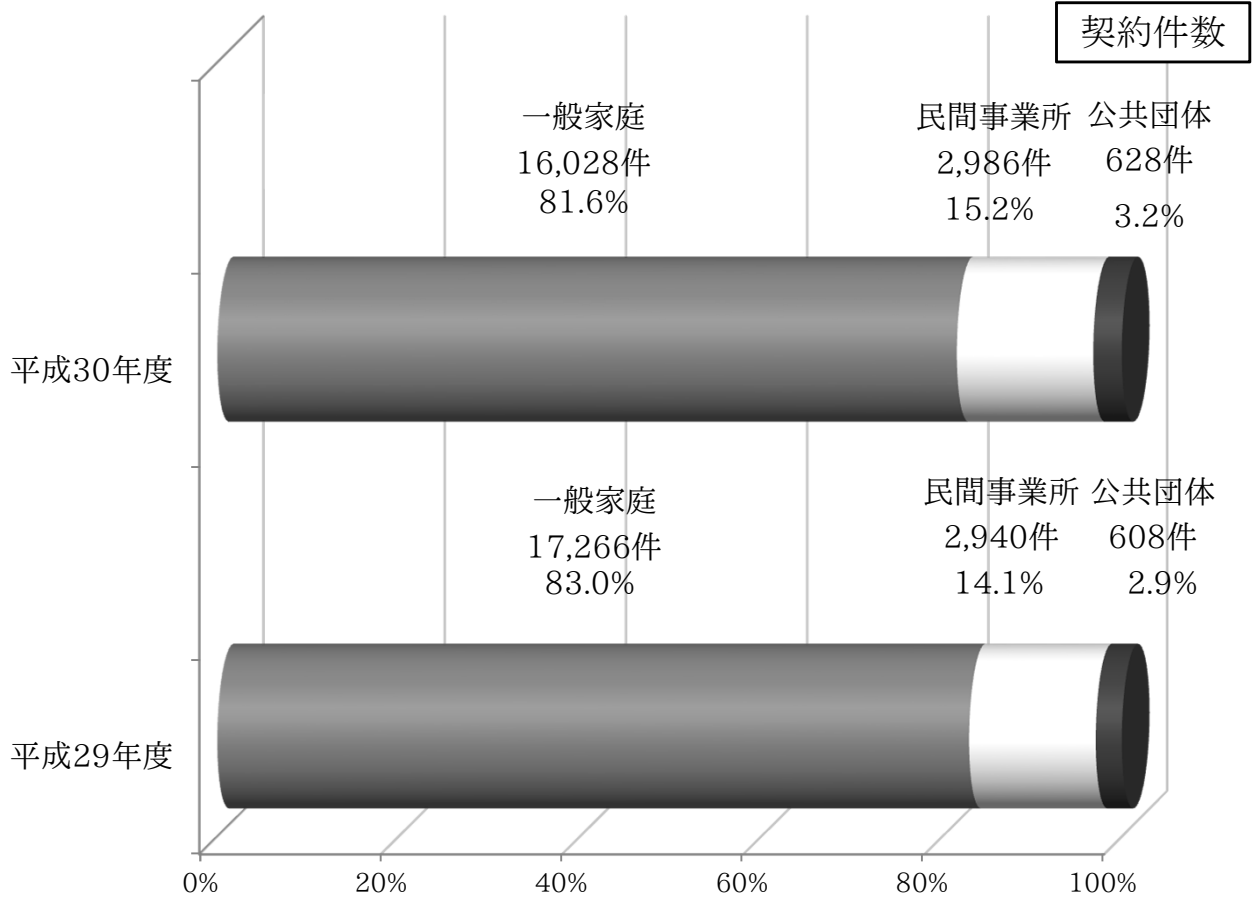


※「就業実人員」及び「就業率」について、受託事業又は派遣事業に就業実績のある会員数。全国的に統計方法が変更となり、両事業に就業実績がある場合は1名で計上する方法となりました。

②契約件数・契約金額（受託事業）

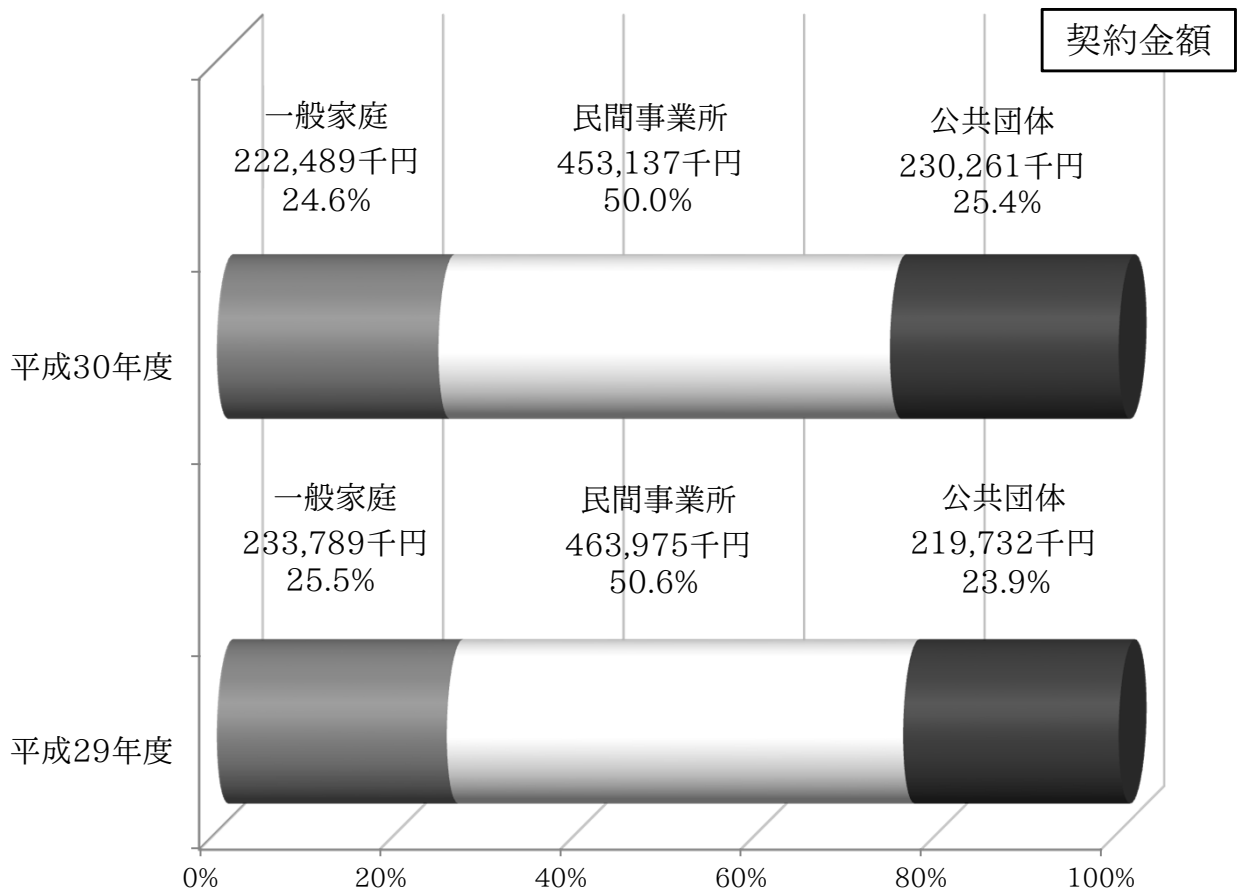
平成30年度 19,642件 (前年比 94.4%)

平成29年度 20,814件

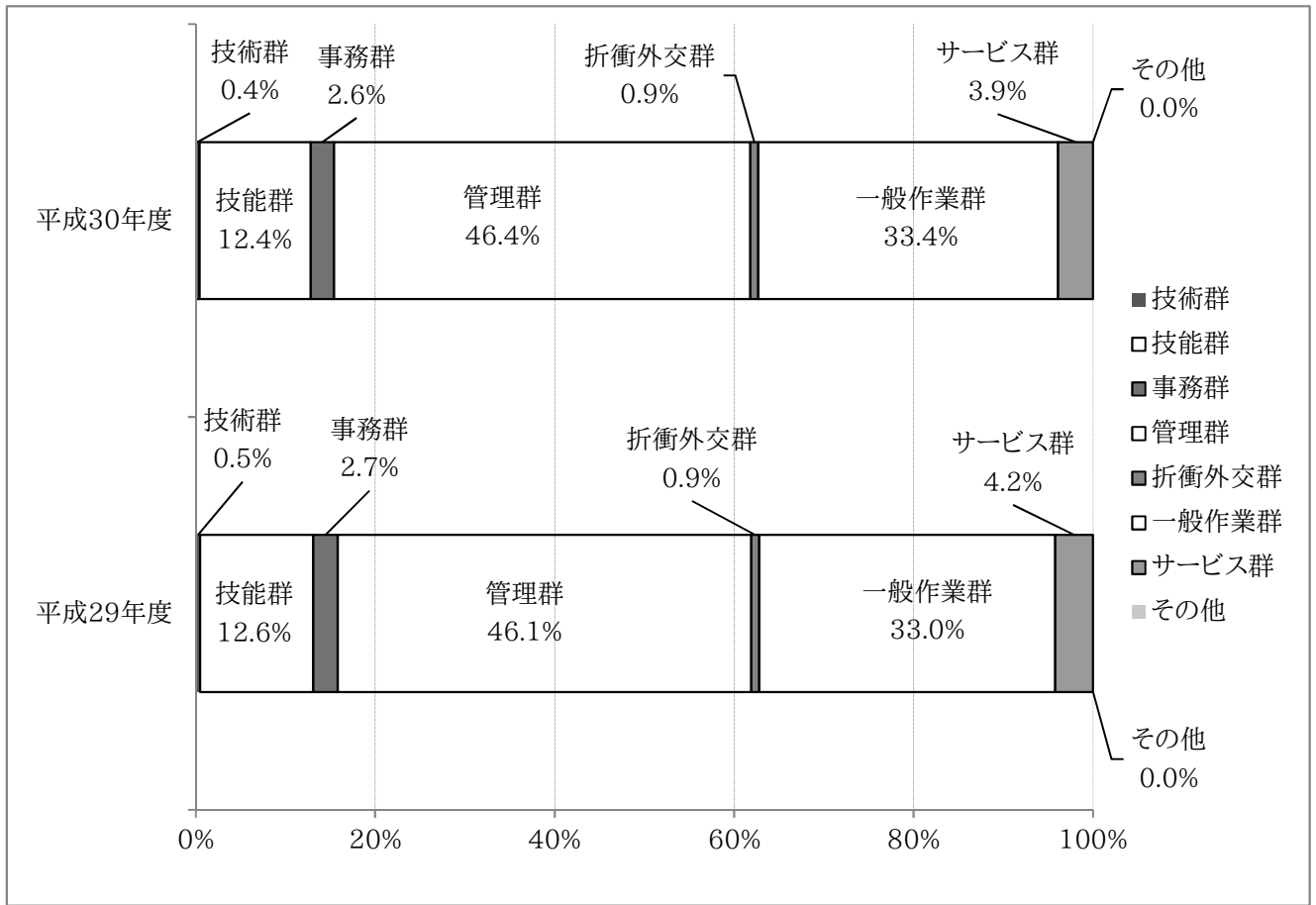


平成30年度 905,887千円 (前年比 98.7%)

平成29年度 917,496千円



③職群別契約額構成比（受託事業）



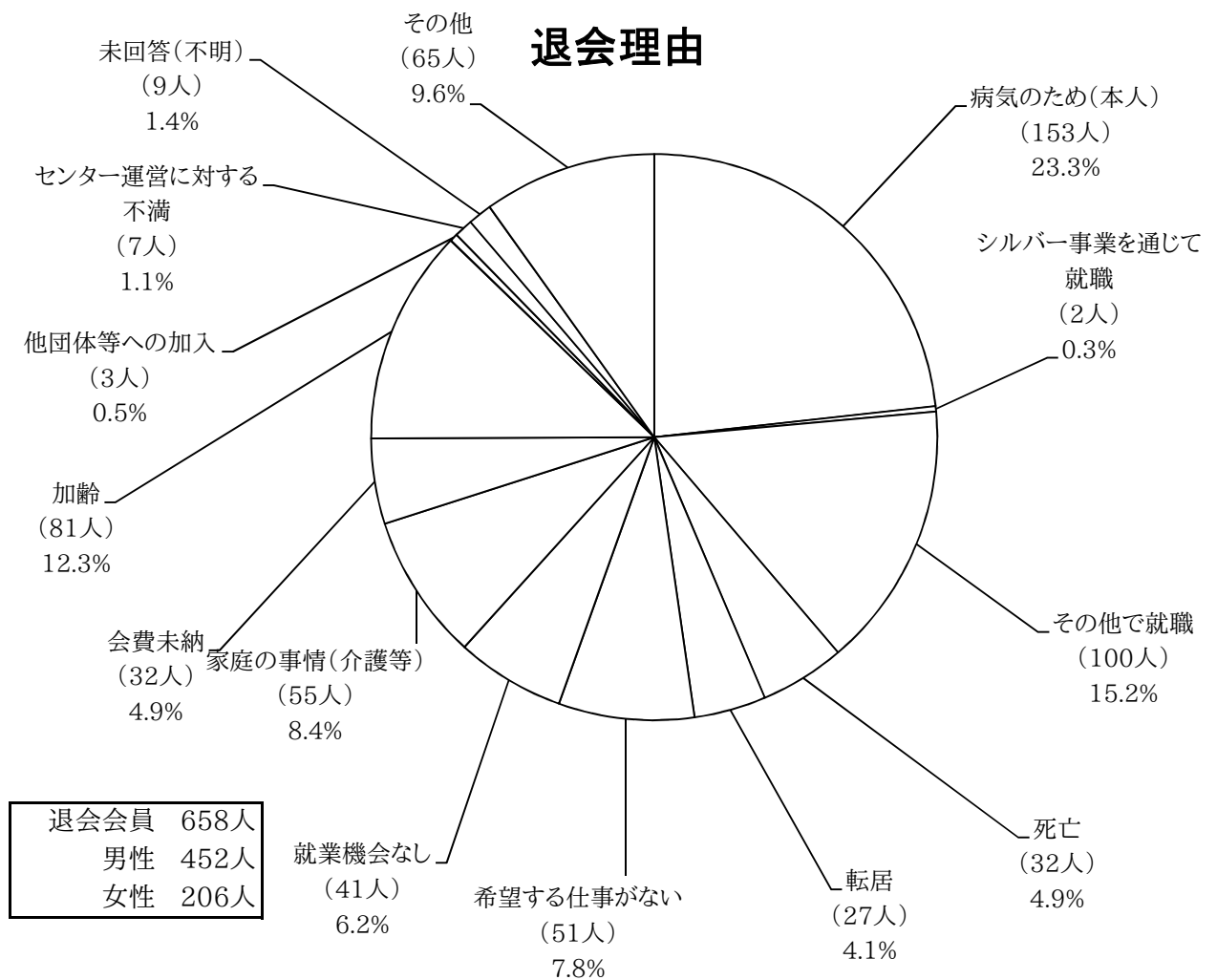
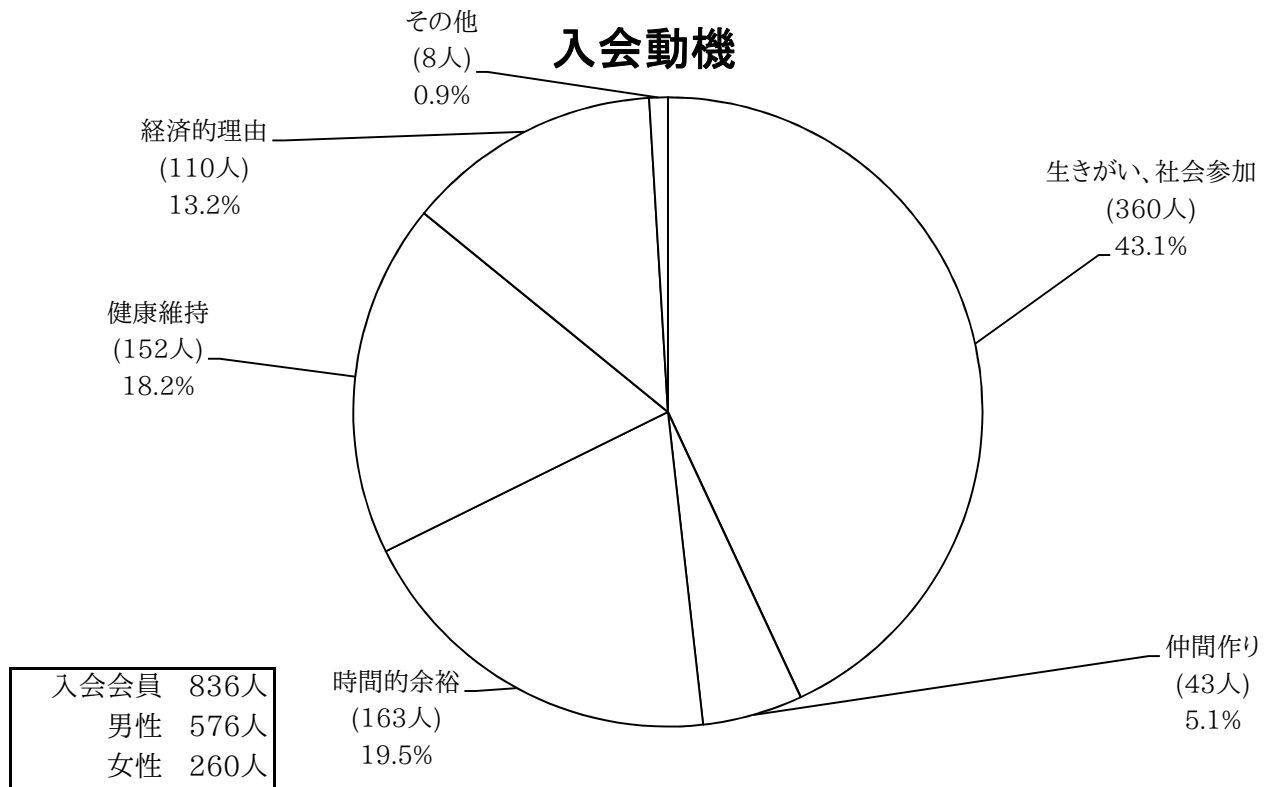
④年度別会員登録状況

平成30年度 4,120人

平成29年度 3,942人



⑤新入会員の入会動機・退会会員の退会理由



(1) 総 会

会 議 名	開催年月日	議 事
定 時 総 会	平 成 30 年 6 月 7 日	1 報告事項 (1) 平成30年度事業計画について (2) 平成30年度収支予算について 2 承認事項 (1) 平成29年度事業報告の件 (2) 平成29年度収支報告の件 (3) 平成29年度決算報告の件 (4) 役員を選任の件

(2) 理事会

会 議 名	開催年月日	議 事
第 1 回 理 事 会	平 成 30 年 5 月 18 日	1 報告事項 (1) 会員の入退会状況について（～3月） (2) 事業実績について（～3月） (3) 前回理事会以降の会議・行事について (4) 今後実施の会議・行事について (5) 事業計画推進委員の委嘱について (6) 安全・適正就業委員の委嘱について (7) 会報編集委員の委嘱について (8) シルバー人材センターの業務拡大の指定に係る要件緩和について (9) 出張入会相談窓口について 2 承認事項 (1) 平成29年度事業報告の件 (2) 平成29年度第2次収支補正予算の件 (3) 平成29年度収支報告の件 (4) 平成29年度決算報告の件 (5) 役員候補者選考委員の委嘱に関する件 (6) 役員候補者の推薦に関する件 (7) 平成30年度定時総会開催に関する件 (8) 退任予定役員の表彰に関する件 3 その他
第 2 回 理 事 会	平 成 30 年 8 月 24 日	1 報告事項 (1) 会員の入退会状況について（～7月） (2) 賛助会員の入会状況について（～7月） (3) 事業実績について（～7月） (4) 前回理事会以降の会議・行事について (5) 今後実施の会議・行事について (6) 第2次会員100万人達成計画について (7) 就業期限基準対象者への対応について (8) 事業計画推進委員の委嘱について (9) 事故措置審議会委員の交代について 2 承認事項 (1) 札幌市への要請活動の件 (2) 業務執行理事の選定の件(事業計画推進委員の委嘱) 3 その他

第 3 回 理 事 会	平成 30 年 11 月 30 日	1 報告事項 (1) 会員の入退会状況について（～10月） (2) 事業実績について（～10月） (3) 前回理事会以降の会議・行事について (4) 今後実施の会議・行事について (5) 第19回大通公園清掃奉仕活動の実施結果について (6) 平成30年度パネル展の実施結果について (7) 労働者派遣事業における「派遣労働会員就業規則」の整備について 2 承認事項 (1) 平成30年度「会員継続調査」実施の件 (2) 諸規程の改定の件 3 その他
第 4 回 理 事 会	平成 31 年 3 月 15 日	1 報告事項 (1) 会員の入退会状況について（～1月） (2) 賛助会員の入退会状況について（～1月） (3) 事業実績について（～1月） (4) 前回理事会以降の会議・行事について (5) 今後実施の会議・行事について (6) 第2次基本計画の遂行状況について (7) 2019年度諸会議等実施計画（案） (8) 女性部長連絡会議の結果について (9) 道シ連シルバークフェスティバルの実施結果について 2 承認事項 (1) 平成30年度第1次収支補正予算（案）の件 (2) 2019年度事業計画（案）の件 (3) 2019年度収支予算(案)【平成30年度決算見込】の件 (4) 諸規程の改定の件 (5) 第21期役員候補者選考基準（案）の件 3 その他

(3) 地域班運営委員長連絡会議

会 議 名	開催年月日	議 事
第 1 回 地域班運営委員長 連絡会議	平成 30 年 4 月 20 日	1 報告事項 (1) 平成30年度の事務局執行体制について (2) 各区の地域班運営委員長について (3) 安全・適正就業委員について (4) 平成29年度の事業実績について (5) 出張入会相談窓口について (6) シルバー人材センターの業務拡大の指定に係る要件緩和について 2 協議事項 (1) 平成30年度定時総会の開催について (2) 第25回会員交流大会の開催について 3 その他 (1) 平成30年度の普及啓発チラシ等について (2) 平成30年度地域班等役職数等の確認について (3) 平成29年度各区地域班活動状況の確認について (4) 新入会員の「会員住居略地図」について

第 2 回 地域班運営委員長 連絡会議	平成 30 年 7 月 27 日	1 報告事項 (1) 傷害・賠償事故発生状況について (2) 就業期限基準の対象者について (3) 事故措置審議会委員の交代について (4) 第 2 次会員 100 万人達成計画について 2 協議事項 (1) 第 19 回大通公園清掃奉仕活動の実施について (2) 平成 30 年度パネル展の開催について (3) 札幌市への要請活動について (4) 各区地域班へ提供する会員情報について (5) シルバーフェスティバル(道シ連主催)への協力について 3 その他 (1) 平成 30 年度地域班運営委員会活動実施報告書(上半期分)の提出について
第 3 回 地域班運営委員長 連絡会議	平成 30 年 10 月 26 日	1 報告事項 (1) 第 19 回大通公園清掃奉仕活動の実施結果について (2) 平成 30 年度パネル展の実施結果について (3) 安全・適正就業委員会事故措置審議会の審議結果について 2 協議事項 (1) 平成 30 年度「会員継続調査」の実施について (2) 平成 31 年度地域班活動費及び組織活動費について 3 その他
第 4 回 地域班運営委員長 連絡会議	平成 31 年 2 月 15 日	1 報告事項 (1) 地域班活動実施報告及び地域班活動費の精算について (2) 安全・適正就業委員会就業現場視察の実施結果について (3) 女性部長連絡会議の結果について 2 協議事項 (1) 平成 31 年度事業計画(案)について (2) 平成 31 年度地域班活動費及び組織活動費について (3) 未就業会員への対応策について 3 その他 (1) 役員の改選について (2) 平成 31 年度新入会員相談及び一般相談業務従事者の提出について (3) 平成 30 年度会員継続調査による会員からのコメントについて

(4) 職群班長会議

会議名	開催年月日	議 事
第 1 回 職群班長会議	平成 30 年 4 月 20 日	1 協議事項 (1) 各区の職群班長について (2) 作業別安全就業基準及び就業会員への周知について (3) ヘッジトリマーの所有及び使用調査について 2 その他
第 2 回 職群班長会議	平成 30 年 7 月 27 日	1 協議事項 (1) 職群班主催の自主研修(機械除草)へのカルマー等の貸出しについて (2) 「植木の手入れ」、「植木の冬囲い」、「除草(機械)」職種における更新研修制度について

		(3) 植木の手入れ作業におけるヘッジトリマーの使用について 2 その他
第 3 回 職群班長会議	平成 30 年 10 月 26 日	1 報告事項 (1) 物損事故発生時の安全・適正就業委員による現場検証等の実施について 2 協議事項 (1) 植木の手入れ・植木の冬囲い・除草(機械)作業について 3 その他
第 4 回 職群班長会議	平成 31 年 2 月 15 日	1 報告事項 (1) 作業別安全就業基準の一部改定について (2) 平成30年度更新研修の開催状況について 2 協議事項 (1) 植木の手入れ・植木の冬囲い・除草(機械)作業について 3 その他

(5) 安全・適正就業委員会

会議名	開催年月日	議 事
第 1 回 安全・適正 就業委員会	平成 30 年 7 月 11 日	1 報告事項 (1) 安全・適正就業委員の交代について (2) 平成29年度の事故発生状況について (3) 平成29年度安全・適正就業啓発実施状況について 2 協議事項 (1) 副委員長を選出について (2) 事故措置審議会委員の選出について (3) 安全・適正就業推進体制について (4) 就業現場視察について (5) 各区職群班主催の自主研修におけるカルマー等の貸出しについて (6) 更新研修制度について(植木の手入れ、植木の冬囲い、機械除草) (7) 植木の手入れ作業におけるヘッジトリマーの使用について (8) 各区地域班における安全就業対策について 3 その他
第 2 回 安全・適正 就業委員会	平成 30 年 9 月 28 日	1 協議事項 (1) 今年度発生した機械除草作業中の賠償事故について 2 その他
第 3 回 安全・適正 就業委員会	平成 30 年 12 月 21 日	1 報告事項 (1) 平成30年度の事故発生状況について (2) 平成30年度安全・適正就業啓発実施状況について (3) 平成30年度就業現場視察結果について (4) 平成30年度事故措置審議会の審議結果について (5) 物損事故発生時の安全・適正就業委員による現場検証等の実施について (6) 更新研修の受講状況について 2 協議事項 (1) 「作業別安全就業基準」の改定について (2) 各区地域班における安全就業対策について 3 その他

第 4 回 安全・適正 就業委員会	平成 31 年 3 月 8 日	1 報告事項 (1) 平成30年度の事故発生状況について (2) 平成30年度更新研修の開催状況について 2 協議事項 (1) 複数就業の一部緩和について (2) ヘッジトリマー使用要件の一部見直しについて 3 その他
-------------------------	--------------------	---

(6) 事業計画推進委員会

会 議 名	開催年月日	議 事
第 1 回 事業計画 推進委員会	平成 31 年 2 月 1 日	1 議 題 (1) 各部会からの主要課題進捗状況報告 ① 総務・財政部会 (9/13、11/19、1/16 開催) ② 事業部会 (7/13、9/14、11/15 開催) ③ 組織部会 (5/15、5/22、7/18、9/5、11/22、 12/10 開催) ④ 普及・啓発部会 (9/21、10/29、11/29、2/1 開催) 2 その他

(7) 女性部長連絡会議

会 議 名	開催年月日	議 事
第 1 回 女性部長 連絡会議	平成 31 年 1 月 25 日	1 議 題 (1) 女性会員の登録状況等について (2) 各区女性部の活動について 2 その他

事業報告の附属明細書

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。